

# 産業建設常任委員会

## 町内施設等視察研修会を実施

鈴木唯夫委員長

秋晴れの中、町主要事業である篠本新井地区ほ場整備事業工事現場、栗島橋架橋工事現場、(仮称)長塚・北清水架橋工事現場、また3月11日に発生した震災・津波・液状化による被災地の復興復旧対策の進捗状況等、七箇所を10月14日(金)に視察しました。

篠本新井ほ場地区におかれましては、地下水位制御システム(フォアス)を一部導入し、水田と畑作、双方が作付けできるとの説明を受け、農業を取り巻く環境、経営に至るまで、日々進歩していると感じました。

また、当町の合併特例債事業の根幹を成す二箇所の架橋については、早期の完成が多く町の民の願いと思われまふ。

震災による被災地の復旧については、県の事業、町の事業と予算規模に相違がありますが、海岸浸食は待つてくれません！一日も早い復興を願っております。



栗島橋の橋脚・橋台

齋藤順一議員

長塚・北清水架橋事業工事、栗島橋架橋工事の視察研修を終えて、この橋が、今後住民同士の物心両面の架け橋にならんことを願いました。そして、旧両町を分断する栗山川で御座いますが、町を象徴する栗山川へと成り、町が一体化します事を念じました。

浅野孝男議員

篠本新井地区での「基盤整備事業」と「集落営農」には、横芝光町農業の将来に希望の光を感じました。



フォアスによる大豆栽培の説明を聞く



地震で破壊された尾垂浜の護岸

編集

後記

秋の色が日増しに色濃くなり、秋の深まりを感じる今日この頃となりました。

4月に行われました町議会議員選挙から半年が経過し、それぞれの政治理念のもと、町民の皆様の負託に応えるべく重責を担って議員活動に奮闘をしております。

さて、近年は高度情報化社会といわれ、テレビ、ラジオ、インターネットなどからリアルタイムに情報を収集する人が多くなってきました。このような高度情報化社会に伴い、議会、たよりもデジタル的な創意工夫が求められています。町議会もリアルタイムに情報発信できるようにホームページの立ち上げを検討しなければならぬと感じています。

しかし、インターネット環境が全ての家庭に整っているわけではなく、このような皆様のためにも議会だよりは大変重要な広報活動の手段でありますので、紙面の充実はもとより、分かり易く、親しまれる広報紙づくりとなるよう努めていきたいと思っております。

広報委員 山崎 貞一